

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 4 月 6 日作成)

委員会名	RC 構造計算規準（原子力発電建屋）作成小委員会	主 査 名：今井 弘
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：林 静雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	電力会社 11 社の委託により、本小委員会は、原子炉施設の特殊性を考慮し、原子炉施設を対象とした鉄筋コンクリート構造計算規準（RC-N 規準）の案を作成する。 2003 年度 RC - N 規準の素案をまとめる。 2004 年度 素案を修正し、RC-N 規準の案を完成する。	
委員構成 (委員名 (所属))	今井弘 (主査、筑波大)、野口博(千葉大)、井上範夫(東北大)、市之瀬敏勝(名工大)、和泉信之(戸田建設)、黒瀬行信(清水建設)、北山和宏 (都立大)、川原修司 (経産省)、石村紀久雄(東京電力)、尾崎昌彦(関西電力)、秋山和則(大林組)、兼近稔 (鹿島建設)、三浦宣明(清水建設)、児玉城司 (大成建設)、持田哲雄(竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	①材料・荷重・応力WG (RC-N 規準のうち、使用材料・作用荷重・応力解析などに関する部分を担当し執筆する。) ②部材算定WG (RC-N 規準のうち、部材の算定方法に関する部分を担当し執筆する。)	
2004 年度予算	0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	予定通り、小委員会を 5 回開催した。(03/5/21、6/22、9/10、12/3、05/2/22) また、2 つの WG は、小委員会の中間に、各 4 回開催した。 2004 年 3/17 と 5/13 に、RC 運営委員会委員を相手に RC-N 構造計算規準素案のヒアリングを行なった。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 予定通り、2004 年 9 月には RC - N 構造計算規準原案をまとめ、RC 運営委員会に報告した。その後、RC 運営委員会の査読委員の査読結果を反映した修正報告書を構造委員会に提出した。 構造委員会の査読担当者から査読結果を受け取り、再度修正して構造委員会査読委員の了解も得た。 最終報告書は、RC 運営委員会 (2005.3.3) で正式に承認された 構造委員会の正式な承認は、2005 年度春の第 1 回構造委員会で得られる見込みである。
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 小委員会設立時の目標を 100% 達成した。
その他評価すべき事項	